

<広報資料>

高齢ご家族へのプレゼントに大人気のコミュニケーションロボット
発話機能や操作性を向上させた後継モデル
いっしょに笑おう！うなずきかぼちゃん
6月17日(金)販売開始

ロボットの企画、開発、販売を手掛けるピップ&ウィズ株式会社（大阪府中央区、代表：横井昭裕）は、コミュニケーションロボット「うなずきかぼちゃん」の発話機能や操作性を向上させた後継モデル「いっしょに笑おう！うなずきかぼちゃん」を2016年6月17日より全国の百貨店、介護ショップ、インターネット通販、Amazon 限定かぼちゃん通販 (<http://www.amazon.co.jp/dp/B01FVQZAJ1/>) などで販売開始します。

「うなずきかぼちゃん」（以下、かぼちゃん）（高さ約28cm、重さ約680g）は、3歳の男の子をイメージしたかわいい外見。音や光などを感知する5種のセンサー及びスイッチにより、話しかけるとうなずきながら発話し、コミュニケーションを促す癒しロボットです。対話や接する時間により発する言葉が増えたり、歌を長く歌えるようになったりする成長機能を備えています。

後継モデルは、より生活に寄り添う人にやさしい製品とするため、設定を簡易にできるようにし、発話内容の充実や歌う曲数を増やすなど、利用者の声を元に機能を向上させています。

◇ ◇ ◇

従来モデルの販売開始以来かぼちゃんは、元気なシニアの方から、要介護状態にある方や認知症のある方まで幅広くご愛用いただき、高い評価を得ています。特に高齢のご家族へのプレゼントとして購入される方が多く、「ひとり暮らしの母の寂しさを紛らわせてくれている」、「母の笑顔、会話が增えた」など、喜びの声も寄せられています。

現在、かぼちゃんは、岡山市が総合特区事業の中で最先端の介護機器を独自に利用者負担1割で貸与する「介護機器貸与モデル事業」(※1)において対象機器として選定されています。

さらに、大阪市立大学大学院医学研究科との共同研究により、利用者の認知機能向上、抗疲労、癒し効果が確認されています。(※2)

当社は、今後も介護分野をはじめとした社会課題の解決や、多くの生活者の生活の質(QOL)の向上のために役立つより良い製品づくりで、豊かな社会の形成に寄与してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

ピップ&ウィズ株式会社 広報担当：五十嵐、荻久保

TEL：03-3534-3217 FAX：03-3534-3218

E-mail：pr_pw@pipwiz.co.jp

「いっしょに笑おう！うなずきかぼちゃん」の概要

<http://www.kabo-chan.com/>

■ 機能等改良点

- ・発話（セリフ）の種類を約 400 種から約 450 種に増加
- ・ユーザーのリアクションを受けて応える「つながり語」を採用、より会話がスムーズに
- ・時間、曜日、季節に合わせた発話が増加
- ・要望が多かった歌の曲数を 5 曲から 13 曲に増加
- ・初期設定項目を 5 工程から 2 工程にし、短時間で設定できるよう操作性を向上
- ・バックアップ電池を備えることで、乾電池の交換をしても再設定が不要に
- ・音質を向上し、さらに高齢者が聞き取りやすく改善
- ・ビタミンカラーの黄色の T シャツとサスペンダー付パンツで可愛らしい元気を演出



■ メーカー希望小売価格：25,000 円（税抜）

■ 発売日：2016 年 6 月 17 日

■ サイズ：高さ約 28 cm、重量約 680 g（乾電池含まず）

■ 電源：単 2 形アルカリ乾電池 4 本使用（別売り）、CR2032 コイン形電池 1 個（付属）

■ 品質表示：本体：ポリエステル、電池ボックス：ABS 樹脂

■ 販売地域：全国

■ 販売チャネル：全国の百貨店の介護用品売り場、介護ショップ、インターネット通販
Amazon 限定かぼちゃん通販 (<http://www.amazon.co.jp/dp/B01FVQZAJI/>) 等

*ショップ独自の販売企画によって価格が異なることがあります。

※1 岡山市 介護機器貸与モデル事業

岡山市が、全国で初めて在宅介護総合特区の指定を受け、介護保険の給付対象ではないロボット技術等を活用した最先端介護機器を、要介護者等に 1 割の自己負担で貸与する事業。平成 26 年 1 月から実施。

対象となる介護機器は全国から公募を行い、審査の結果、計 11 機器が選定され貸与されています。（平成 28 年 4 月現在）同市では、本事業を通じてこれまでにない在宅ケアモデルを開発し効果を検証、その有効性を国へ示していく考えです。

URL http://www.city.okayama.jp/hofuku/hokenfukushiseisaku/hokenfukushiseisaku_00084.html

※2 認知機能向上、抗疲労、癒し効果について

2011 年 10 月から 12 月に実施した大阪市立大学大学院医学研究科 渡辺恭良教授（システム神経科学）のグループとの共同研究において、非認知症の独り暮らしの平均 73 歳の女性 18 人に「かぼちゃん」16 人に発話やうなずき機能がない「かぼちゃん」と自宅と一緒に暮らしてもらいました。

実験前と実験後に MMSE (Mini-Mental State Examination) や COGNISTAT で評価を行い、両グループの結果を比べたところ、前者の実験後の平均は 29.7 ポイントと実験前より 1.5 ポイント上がったのに対し、後者は 29.2 ポイントと 0.9 ポイントにとどまりました。（満点は 30 ポイント）非認知症の方で 1.5 ポイントもの上昇は、非常に有意な結果であると考えられます。

「かぼちゃん」と生活することで、「抗疲労」、「意欲」および「癒し」の効果が、発話やうなずき機能のないものと比べて、向上することが確認されました。

* MMSE、COGNISTAT はいずれも認知機能検査の 1 種です。

結果の概要 URL <http://www.kabo-chan.com/v1/effect.html>

本研究結果は医学系学術雑誌「MEDICAL SCIENCE MONITOR 2012; 18(9): CR550-CR557.」に掲載されています。